

# 豊郷地域学校園（豊郷中学校，豊郷中央小学校，豊郷北小学校，海道小学校）

## 【全体研究テーマ】「豊かな郷の生き生きとした子どもたち」

－豊かなかかわりの中で自ら主体的に学ぶ児童生徒の育成－

豊郷地域学校園では、「かかわり」と「主体性」を共通キーワードとして研究を推進した

### 【豊郷中学校】

1 研究テーマ 「豊郷地域学校園の地域人材を生かした理科教育の推進」

#### 2 研究内容

小中一貫教育のモデル校であった本校は、小学校との交流だけでなく、地域学校園の地域の方々と様々な活動を行ってきた。昨年度からはフロンティア地域学校園として活動している。今年度は、地域の専門家が本校の理科教育を支援していただけることになった。以下は帝京大と農業試験場との連携によるものである。

2月 校内理科部会「研究テーマの検討と研究計画」

3月 地域協議会のメンバーの帝京大事務長と  
農業試験場次長に目的、内容を伝え、協力を要請

4月 校内理科部会「授業者の決定」

5月 校内理科部会（事前研究・準備・打ち合わせ）  
帝京大、農業試験場との準備・事前打ち合わせ

宇中教研理科部会（28日）で、以下の2つの授業を公開

「放射線について知ろう」2-3 田澤恵理教諭 講師 帝京大理工学部教授 橋本敬三氏

「種子のできる植物のふえ方」3-1 手塚弘幸教諭 講師 農業試験場研究開発部技師 北原智史氏



#### 3 成果と課題

専門的な説明や実験をすることで、生徒は興味をもって取り組み、理解が深まった。今後は、地域人材を生かすことが可能な授業の検討をし、理科人材バンクを作成していきたい。また、学術的な施設だけでなく、地域在住で専門性のある方の人材発掘をしていきたい。

### 【豊郷中央小学校】

#### 1 研究テーマ

「自分の思いを豊かに表現し、伝え合い、学び合う児童の育成 一国語科による言語活動の充実を目指して」

#### 2 研究内容

4月 学校課題解決のための研究組織、  
内容と方法の検討と共通理解

6月 第1回校内授業研究会（2年・6年）

9月 第2回校内授業研究会（1年・4年）

11月 第3回校内授業研究会（3年・5年）

#### 3 成果と課題



○成果・「話すこと・聞くことの学習を通して身に付けさせたい力」を明確にした上で、指導内容を焦点化し手立てを明らかにして授業を行うことで児童が意欲をもって学ぶようになった。

- ・自分の思いを適切に表現したり、相手の思いを正確に理解したりする力が伸びてきた。
- ・「話すこと・聞くこと」の学習を成立させるための基本的な学習態度が少しずつ身に付いてきた。

○課題・自分の思いを表現する力、伝え合う力は身に付きつつあるが、友達との関わりの中で自分の学びを深めたり、よりよいものに練り上げたりする「学び合う」力へと高めていくことが今後の課題である。

- ・表現力や聞き取る力を高めるためには、話すこと・聞くことの土台づくりを学年段階に応じて指導することが大切であることを再確認した。今後は「話すこと・聞くことの基礎基本」についても系統的に指導していくことが大切ではないか。

## 【豊郷北小学校】

1 研究テーマ「好ましい人間関係をはぐくむ学級経営—豊かなかわりをとおして互いに認め合う児童の育成—」

### 2 研究内容

- 5/22 (水) 校内授業研究会 (6の1:国語) ○6/25 (火) 要請訪問 (3の1:国語, 4の1:体育)
- 9/19 (木) 要請訪問 (1の1:国語, 6の2:学活) ○10/30 (水) 校内授業研究会 (5の1:体育)

○11/1 (水) 校内授業研究会 (2の2:国語)

○11/14 (水) 宇小教研学級経営部会公開授業

2の1 国語「聞き合おう、みんなのたからもの」

(赤羽 弓子 教諭)

市教育センター：齋藤知之副主幹・指導主事

5の1 体育「心の健康」

(神保 治之 教諭・竹原 綾香 養護教諭)

市教委：宇賀神俊彦指導主事



### 3 成果と課題

- 思いを伝え合う力、相手を受け入れる態度が育ち、親和的な人間関係が築けるようになってきた。相手の立場に立った言動を取れる児童が増えたので、話し合いや学び合いの学習が活性化した。
- 自分らしさを発揮し、よさを活かした言動をとることのできる児童が増えつつある。異学年の活動でも自分の立場を自覚して意欲的に活動し、思いを表現できる児童が多くなってきている。
- 学級の独自性を活かしながらも、認め合う場の設定や様々な関わりの機会の設定などは、学校全体として計画的組織的に取り組んでいくことが大切である。小規模校の特色を活かし、共通理解を図りながら今後も効果的な取り組みについて研究を深めていきたい。

## 【海道小学校】

### 1 研究テーマ

自ら学び、生き生きと表現する児童の育成—問いを持つ、調べて考える、広げる社会科の授業づくり—

### 2 研究内容

- 話し合いにおける発表の仕方の向上を図る。(話し合いの仕方のルールや手元資料等活用, 自分の考えの裏付けとなる理由も述べる。)
- 話し合いにおける発表への意欲の向上を図る。(自分の考えをノートやワークシートに記入, 机間巡視でよい意見に印付け等で自信を持っての発表, 小グループの話し合いを展開の中に有効活用)
- 学習のまとめの工夫を図る。(毎時間ごとの気づきや感想の記録, 「あいさつ文」や「新聞作り」等で学習の振り返り)
- 資料の工夫をする。(実物・写真資料・視聴覚教材等の工夫で児童の興味・関心の向上)
- 板書の工夫をする。(児童の考えが生かされる板書, 一時間の流れが見える板書構成)
- 作業用紙を工夫する。(自分自身や友達の考えが記入できるように工夫)



### 3 成果と課題

(成果)・社会科の学習に意欲を持って取り組むようになった。

- ・資料やグラフ等を根拠にして意見を述べる児童が見られるようになってきた。
- ・地域内の関係施設や人材との交流が深まり、今後の学習に役立つものになった。

(課題)・授業で活発な話し合い活動が行われるようになったが、発言する児童が偏っている傾向がある。